

平成29年度事業報告書

認定NPO法人に認証され2年、着実に歩を進めた一年でした。

今年度早々には神戸文化ホール大ホールにて「第4回アンクルン演奏会」を開催。2003年の第2回演奏会を経て「もしかしたらピアノコンツェルトを演奏できるかもしれない」という大きな夢を10年抱き続け、2014年から3年をかけて準備して参りました。多くの演奏家との打ち合わせを重ね、ラフマニノフピアノコンツェルト第2番第1楽章やミュージカル「レ・ミゼラブル」他を交響楽団・ピアニストと共に演奏をまとめあげることができました。アンクルンでしかできない大きな体験でした。

そのような演奏会の準備をしながらも園芸プログラム等、様々な活動も休むことなく同時進行することができた一年であったことは本当に素晴らしいことでした。

1. 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

(2017年4月から2018年3月)

No.	定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	支援者の人数	受益対象者の範囲及び人数
1	障害福祉サービス事業	就労継続支援B型	5日/週	法人施設	3人/日	知的障害者10人/日
	事業内活動名	活動内容	実施日時	実施場所	支援者の人数	受益対象者の範囲及び人数
	障害者と市民との交流活動	講習会、地域事業との連携	2回/年	各会場	10人/回	一般市民不特定多数
	里山維持管理活動	国営明石海峡公園の里山維持管理活動	1回/月	国営明石海峡公園神戸地区	15人/回	一般市民不特定多数
	障害者の社会参画に関する普及啓発活動	園芸療法実践報告、講演等の活動	なし	—	—	—
2	障害者によるアンクルン・オーケストラ演奏事業	障害者の音楽活動支援活動	2回/月	近隣集会所	4~6人/回	障害者22人/回
		演奏活動とワークショップ	7回/年	各会場	4~6人/回	一般市民不特定多数



認定NPO法人 プレゼント ガーデントゥー

Present Garden to

2. 活動報告

特定非営利活動に関わる事業

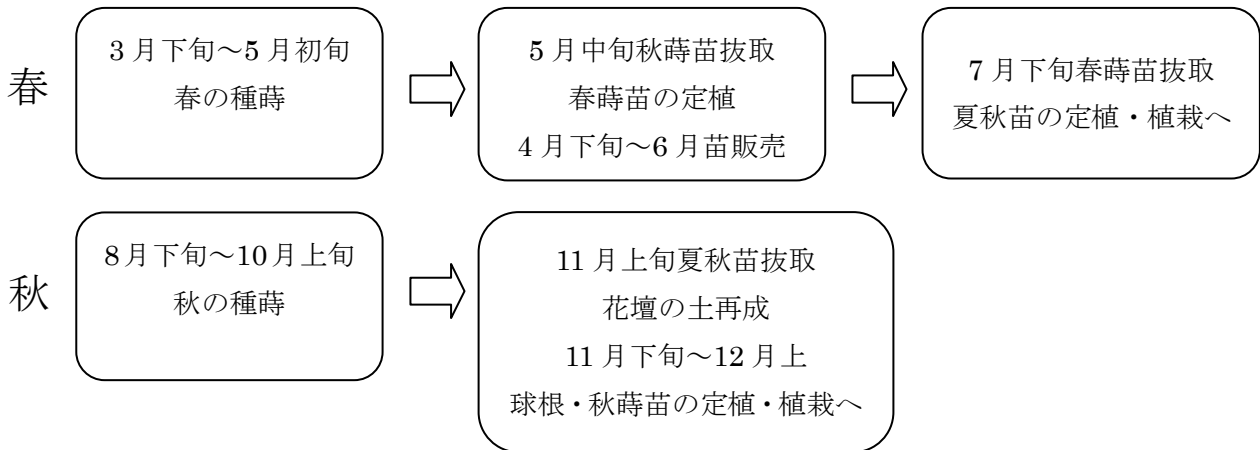
・ 障害福祉サービス事業

①園芸プログラム

プレゼント・ガーデンの実習園庭にて基本的な園芸療法プログラム（種を蒔き、育苗して花を咲かせる）を行っています。園芸療法は花を育てながらメンバーひとりひとりの障害を含めた人格と向き合い、その精神的、身体的、社会的課題を乗り越えるためのプログラムを提供します。そして心身ともに、より健康で社会に貢献できるスタンスを持つことができるよう支援しています。1年間を1クルーと考えるなか、まず「1日の生活リズムを確立」→「春夏秋冬：季節の変化と園芸作業への適応」→「年間園芸活動の把握」これらの活動を繰り返しながら個々の人格的成長を積み重ねています。

「お花を」育てるということから始まった園芸療法は今や農園、あいなりの里山、植栽、役務へと大きく広がり、この活動に費やす時間はむしろ非常に短くなっています。それでもその量・質共にレベルアップし道行く人を慰め、地域の方々に「お花の事業所」として認められるまでに成長することができています。

◆種蒔き 年二回



②その他の園芸プログラム

小寺農園では、自らが育て、自ら食す、そして家族にも喜んでもらい、木曜日（活動日）の野菜のお土産を双方が喜び楽しみにしています。

今年度は今まで利用してきた2区画に加えて、ちょうど隣の区画が空いたこともあり、合計3区画の農園作業に挑戦しました。新しい区画はまさに「開墾」から始めると言った状況で、かつて小寺農園で活動を始めた時のことが思い出されました。メンバー全員が鍬を握って耕すことができ、文字通りメンバーが開拓していく姿が頼もしく思えました。単純に区画を広げていくのではなく、それがメンバー・スタッフの作業量に適したものになるのかということを検討しつつ、良い畑になるのに数年はかかるであろうという長い目で取り組んでいくつもりです。

三浦ナーセリーでの土入れ作業は、速さ・正確さ連携等を身につけ、ペアでの作業、グループ全体としての動きを学ぶことができます。

役務等作業が増えると三浦ナーセリーでの作業を行うことが少なくなりましたが、過酷な環境や色々な作業での動き方を三浦ナーセリーで学んできたのだと感じさせられることも多くなります。今年度も作業が久しぶりになるとメンバーの「勘」を取り戻すのに時間がかかり、20段の土入れ作業を達成できない日もありました。その時に継続ということの大切さも感じます。

東谷公園市民花壇のオアシスは、実習庭園に加えて地域の多くの方々に声をかけていただける一番の場所となっています。花を育てながら「ありがとう」「綺麗だね」と言ってもらえることができたり、「あの公園の綺麗な花壇はだれがやっているのだろう」という話を耳に挟むと誇らしく思え、地域・社会へのちょっとした貢献を感じることができます。

今年度もたくさんの方に声をかけていただくことができ、公園での作業にとっても意義を感じる一年でした。花壇を綺麗に保つことでそこに来られる方が気持ちよくなったり、さらにはそこに集える雰囲気を作ることの一端も担っているかもしれません。例年冬に土の再生をする際に木の根がはびこっており、その除去に大変な労力を要しますが、夏場に土の掘り返しを行うことで今年度はその労力がかなり軽減されました。それによって土の状態もよくなったものと感じています。神戸市からの配布苗にプレゼント・ガーデンで育てた花苗を加えることで色とりどりに咲き誇る花壇を維持していくことが大切です。

◆小寺農園 野菜作り	週一回木曜日	泉修・大西捷三
◆三浦ナーセリー土入れ作業	週一回金曜日	三浦ナーセリー
◆東谷公園市民花壇	週一回月曜日	



小寺農園



三浦ナーセリー



市民花壇「オアシス」

③ ボランティア・講師プログラム

◆音楽療法	月一回第一火曜日	石川理子
◆絵本の時間	月一回第二火曜日	大木知子
◆グローイングハート	月一回第四火曜日	丹羽和子
◆調理実習	月一回水曜日	佐藤悦子
◆スイミング	月一回火曜日	斎藤宏太郎・織田幸代
◆押し花ボランティア「楽花生」	月一回水曜日	大西秀代・泉 朝子 大川佐江子
◆アンクルン昼食会	月二回第二・第四土曜日	大西秀代・斎藤二三子 アンクルン保護者会
◆3B体操	冬季三回	坂元匡子他
◆美術教室	年六回	専門講師
◆昼食調理	毎週火曜日	平西洋子
◆薬膳	月一回水曜日	槇晴美



音楽療法



絵本の時間



グローイングハート



調理実習



3B体操



美術教室



薬膳

④就労支援事業活動

平成 29 年度の月額平均支給額は 11,035 円となり、月額一万円を超え、さらに前年度を超えることができました。役務の受注も例年通り受けることができ、メンバーも一度行った場所ではどんどん動きもよくなり上達しています。役務を行い始めた当初は 5 日かかっていた場所も今では 1 日半で作業を完了できるようにもなっています。植栽も年間契約を継続することができ、自分たちが植えた苗でお客様が喜ぶという仕事として達成感の得られる内容になってきています。PG の庭で行う園芸療法から「仕事」としての園芸や役務作業もまたメンバーを刺激し、その厳しさや時にはお金の大切さを実感することができています。

来年度以降の利用者工賃安定のために工賃変動積立金 101,984 円（内今年度 17,389 円）を積み立てています。

- ◆花苗販売・植栽（園芸部門）
- ◆手芸活動（手芸部門）
- ◆軽作業等・役務（軽作業部門）



⑤障害者と市民の交流活動

第 4 回演奏会のための準備のため例年より少ない出展となった。これを機にさくらんぼの会がメインとなるこれらの活動の頻度を検討し直すこととしています。

バザー出店	年間 全 2 回	たるみ生き生き保健・福祉フェア（10 月 11 日～13 日） ひょうご矯正展（10 月 14 日～15 日）	さくらんぼの会 （保護者会）
-------	-------------	--	-------------------

⑥里山管理活動

知的に障害を持つメンバーが林の中を歩くこと、竹林整備において竹を切り倒し、枝を取り、運搬するという作業が困難なく行えていることは作業を始めたころから考えると誰も予想できなかったことであり、最も成果と言える一面です。これらを継続して行うことが重要であると考えています。

月一回の活動地（四ツ辻）の整備が順調に進んでおり、大きな竹は残すところ池の周りのみとなってきています。長年鬱蒼としていた暗い場所が太陽の光が多く入る本来の里山に戻ってきていることを実感しています。最も作業において大変なのは次々と成長してくる笹と新竹の処理ですが、根気良く行うことで整備した状態を保つことができます。池の周りの竹林整備については当初オンドリが来る可能性があるとのことで整備を控えていましたが、今後多少竹を残しながら枯れているもの、倒れているものを整理を行うことを予定しています。池の周りは斜面も多く、水辺の近くでの作業になるためより一層安全面を考慮して作業を行っているところです。スマレの増殖は今年度は竹林整備に力を入れたためあまり成果を得られませんでした。水辺の近くでの増殖を再度検討しています。

藍那里山活動	月一回（年間 全 11 回）	辰巳憲一
--------	----------------	------



⑦障害者の社会参画に関する普及啓発活動

しあわせの村での「こうべ福祉・健康フェア」での活動を前年度で完了したものとし、1997年より20年に渡って行ってきた活動を一段落する形となりました。秋になると多くの時間をこのイベントのために費やしていることを参加しなかった今年は強く感じるものでした。多くのお客様に「今年も花苗をもらいにきました」と声をかけていただくことは花苗プレゼントを長年行ってきたことの確実な成果でもあります。様々なプログラムを考え、園芸療法や障害者の社会参画の普及を基礎に園芸ワークショップや竹細工ワークショップ、アンクルン演奏等を通して多くのことを発信できたと考えています。今後このイベントで得た様々なノウハウをより地域に密着した形で地域貢献・還元、障害のあるメンバーがそのことに係ることができる催しを行えればと検討しています。

園芸療法実践報告、講演等の活動	なし	—
-----------------	----	---

・障害者によるアンクルン・オーケストラ演奏事業

今年度は5月20日に第4回アンクルン演奏会を催し、1000人を超える方々が足を運んで下さり、涙と感動を持ち帰ってくださいました。演奏する者も、それを聴く者も共にエキサイティングな演奏会になりました。演奏会前から多くのエールが送られ、当日は喜びと感謝のお便り等をお褒めの言葉と共にいただきました。さらには今後の方向性へのアドバイスなどもいただくことができ喜んでいきます。ほぼ20年のアンクルン活動が実を結び障害を持つ方々への音楽療法と彼らのピュアな音による感動の世界を創り上げることが出来ました。そしてこれからもさらに広げていくこと、夢見ることができることを本当に幸いに思います。助

けて下さっている多くの方々に心から感謝申し上げます。新しいメンバーも入会し、20年前に「ここから始まったのだ」と改めてメンバーのすごさを感じています。今後はもちろん次の演奏会をゆっくり射程におきながら進んで参ります。メンバーの多くが30歳を越え、人生の一番充実する時をアンクルンも豊かに深めていきたいものです。

また、第4回演奏会後は多くのミニ演奏会・ワークショップのお誘いをいただき、年間6回というプログラムを行いました。前年度は演奏会準備のためにお断りしたこともあり、演奏会後に再び実施することができたのは第4回演奏会の反響とも言えると感じています。高齢者の方、障害者の方、子ども達とたくさんの方々にアンクルンを聞いて、触って演奏していただけたことは大きな成果と言えます。今後もこのような小さな演奏会やワークショップを積極的に催し、各種イベントにも参加したいと考えています。

◆レッスン	月二回第二・第四土曜日	近隣集会所	北山紀子・石川理子
◆演奏会・ワークショップ	年間 全7回	第4回アンクルン演奏会（5月20日） 神戸学院大学障害者向けプログラム（7月1日） 垂水おもちゃ箱イベント（8月9日） 神戸市長田区湊西教会（10月29日） あいな里山公園「里山まつり」（10月21日） 神戸市長田区小羊幼稚園（11月10日） 神戸市西区狩場台給食会（2月6日）	



第4回アンクルン演奏会



第4回アンクルン演奏会



第4回アンクルン演奏会



神戸学院大学障害者向けプログラム



垂水おもちゃ箱



イベント神戸市長田区湊西教会



あいな里山公園「里山まつり」



神戸市長田区小羊幼稚園



神戸市西区狩場台給食会

3. 事業実施体制

①会議に関する事項

◆通常総会（第一回総会）

開催日 平成29年6月17日(土) 10:00～11:45

開催場所 第四住宅集会所（神戸市垂水区南多聞台6丁目）

出席者 19名（うち表決委任者8名） 正会員総数19名

- | | | |
|----|-------|-----------------------------|
| 議案 | 第1号議案 | 任期満了に伴う役員予選に関する件 |
| | 第2号議案 | 平成28年度事業報告に関する件 |
| | 第3号議案 | 平成28年度決算に関する件
平成28年度監査報告 |
| | 第4号議案 | 平成29年度事業計画に関する件 |
| | 第5号議案 | 平成29年度予算に関する件 |
| | 第6号議案 | 定款変更に関する件 |

◆理事会

平成29年度第一回理事会 平成29年5月31日(水) 13:30～14:15

- | | | |
|----|-------|------------------|
| 議案 | 第1号議案 | 平成29年度第一回総会に関する件 |
| | 第2号議案 | 就業規則に関する件 |

②事務局体制

◆事務長 高野ささぐ

③会員

◆正会員 19名